

HB-style

ENJOY! 研究ライフ!! 叶丸 孝治

特集

HiSOR 散歩道

2009 | Dec. | vol. 10

光物性研究室

谷口研の熱い男

Enjoy! 研究ライフ!!



「できる！やれる！！
あきらめない！！！」

若手研究者

叶丸孝治

自分の趣味

私の趣味はスノーボードです。大学2年からはじめ、今では用具一式を揃え本格的にやっています。初めはバイトの先輩に誘われて島根の瑞穂山に行きました。張り切って行ったのですが、立つことさえできず、立っててもこけてばかりで、デビューはさんざんでした。それから小さな進歩を重ね、いまでは中級なら楽々滑ることができます。なぜ私がスノーボードにのめり込んでいるかというと、急勾配な坂を逃げずに挑戦して滑りきったときの達成感が忘れられないからです。上級の坂を前にすると、足がすくんでしまいます。いっそ中級へ行ってしまおうと思いますが、そのとき心の中でこの言葉を叫びます。「逃げるな！オレ！挑め！」この言葉を叫ぶと、挑戦することの大切さを思い出し、どんなに険しい坂でも挑むことができます。うまく滑れることは稀ですが、うまくいったときのあの感覚は忘れられません。

スウェーデンの出張旅行

私はこれまで非磁性の重金属を吸着させた半導体表面を舞台に、電子スピンの編曲する現象について研究を行ってきました。研究に取り組む中で、スウェーデンのMAXLABという放射光施設に出張実験に行くチャンスを頂きました。今行っている研究を更に進めるためには、高輝度で表面の汚染が少ない放射光を用いて実験をする必要があります。他大学の先生との共同研究ということも

あって広大からは私一人でスウェーデンに行くことになりました。初めての海外渡航で緊張しましたが、無事実験施設へたどりことができました。あまり英語は得意なほうではなく、事前に英会話本を読んでいたのですが、いざ英語だけの空間にいくと恥ずかしさが込み上げ、思うように言葉が出ませんでした。逃げ出したくなるときもありましたが、せっかく頂いたチャンスなのでスノーボードのときのように自分を奮い立たせ、積極的にコミュニケーションを取りました。実験についてもトラブル続きで、なかなか思うようにいきませんでしたがあきらめずに挑むなかでデータを取ることができました。海外出張を経験し、また一歩成長できたと思っています。このチャンスを与えて下さった先生方や研究室の方々には大変感謝しております。

今後について

現在、これまでの研究の集大成として修士論文を書いています。研究室で過ごすのもあと3ヶ月と少しですが、悔いの残らないよう努力していこうと思っています。大学院を卒業後は電機メーカーに就職し、有機EL技術を活用した製品の研究開発をする予定です。将来の夢は、この技術なら誰にも負けない技術者になることです。光物性研究室では実験の基礎や研究の進め方そしてプレゼンテーションの仕方を学びました。これらの経験を糧に社会に出てもチャレンジし続け、夢を実現します。

HiSOR 散歩道

光物性研究室から広島大学放射光科学研究センター (HiSOR) への道のり。何気なく通るこの道にはさまざまなドラマがあり、触って肌で感じることができる。研究のことばかり考えず、ゆっくりとのんびり歩いていこう。

危険薬品保管庫



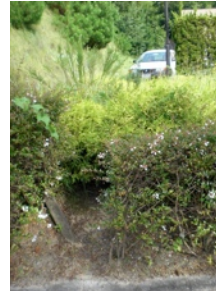
研究棟を出てすぐ右手に見える平屋の建物が危険薬品保管庫である。危険薬品を消防法に基づいて保管する建物で、定期的な数量点検・整理整頓がわれている。たまに、化学科と思われる学生が搬出入を行っているが、詳細は不明である。

横断歩道

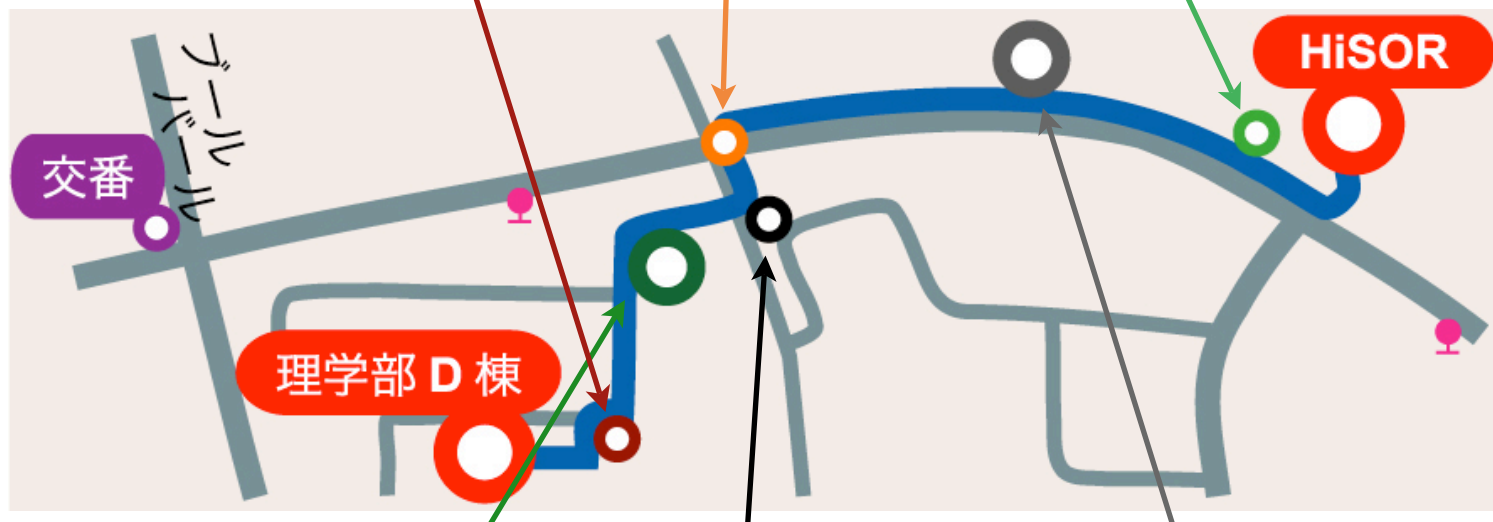


信号のない横断歩道。HiSOR へ行く道中で最難関ポイント。残念な事ではあるが、日本の現状では、歩行者が自動車が途切れるまで待つのが日常となっている。無事に HiSOR へたどり着くためにも左右確認をし、安全に横断しよう。

HiSOR ヘショートカット



HiSOR 手前部分の生け垣には、人が踏み越えたことでできた小道(轍)がある。ここを通ることで準備棟玄関へは約3分早く到着できる。しかし、木々をまたぐ必要があるため運動不足の学生やスカート着用の女性には厳しいコースである。



広島大学両生類研究施設



ビニールハウスが特徴的な広島大学理学研究科両生類研究施設。カエルに代表される両生類は、体が小さく取扱いに便利である。さらに脊椎動物であるため人間を含めた脊椎動物を理解するのに重要な働きをする。ここでは実験動物として傑出した点をもつ両生類を研究材料に、発生学、遺伝学、生態学などの研究を行っている。主な研究活動には、人工繁殖による絶滅危惧種の保全やカエルの遺伝子機能の解析、両生類に特有な病気の原因究明と治療法の開発などがあり、両生類のデジタル自然史博物館や維持系統データベースの開設など特色ある研究を行っている。国内の両生類研究の中核的研究機関の役割を担っている。

自然科学研究支援開発センター入口



広大な敷地面積を有する広島大学には、広大生であっても使用頻度の低い道がある。その一つがここである。右に法人本部、左に横断歩道を望み赤い遊歩道を直進してみよう。すると階段が現れ自然科学研究支援センターへの道に交差する。道なりに進むと生態実験園や植物管理室がある。その案内板の側には実験園で栽培された色とりどりの野菜が展示してあり、心を和ませる。歩を進めるとアイソトープセンター、情報メディアセンターへと通じ、工学部へと到達する。



山中池南遺跡第2地点



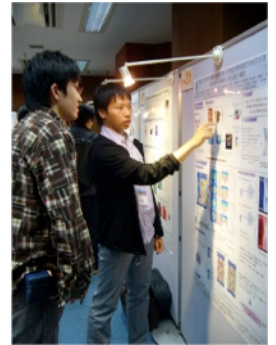
標高 235 m 前後の丘陵部に位置し、旧石器時代、縄文時代、室町時代の遺構・遺物が保管展示されている。居住跡は一辺6~7mの方形をしており、地床炉6や土杭8が発見された。また、出土遺物には縄文土器や石器とともに鍛冶炉が発掘され、作業場・工房跡であったと考えられている。最近、見学者用に解説版と歩行路が整備されたが、風雨による浸食で一部歩きにくい箇所がある。また、野犬がよく出没するスポットであるので襲われないよう注意を払ってもらいたい。ちなみに、第1地点は横断歩道を渡って右側の藪の中にある。

2009年12月 光物性研究室カレンダー

12/12(土)、13(日) 新規材料による高温超伝導基盤技術 第3回領域会議

12月12(土)・13(日)に東京大学・小柴ホールにおいて、新規材料による高温超伝導基盤技術 (TRIP) 領域会議が行われた。2008年に発見された鉄原子を含む高温超伝導体の超伝導発現機構の解明、薄膜や線材等への応用の基盤となる技術の確立に向けて、各研究課題の進捗状況の把握および研究者間での現状認識や情報共有が目的である。本研究室からはM2の中島が参加し、ポスター発表を通して多くの研究者と意見交換を行った。

参考URL : <http://trip.jst.go.jp/3rd/index.html>



12/22(火) 08:30~ 大掃除

12月22日(火)、光物性研究室の大掃除が行われた。普段使用している居室(D201, 202, 203, 204, 205)の荷物を搬出し、掃き掃除、水拭き、ワックスがけ、ガラス窓の清掃、廃棄物の処理、整理整頓を行った。皆心をこめてお世話になっている居室を清掃し、新年を迎える準備をした。毎年大掃除で行っているD202の新しいレイアウトと席替えでは、メンバーから多くの案を集め、最適な環境で研究活動が行えるよう議論を交わし実施した。



12/22(火) 19:00~ 忘年会

大掃除が終了後、忘年会を行った。今年は光物性研究室と放射光科学研究センター (HiSOR) と合同で開催された。谷口教授は、「長年続けてきた研究活動が眼に見える形で花開いてきた。これからも益々の発展を目指して邁進していこう。」と挨拶をされた。皆それぞれ今年の出来事や来年に向けての抱負を語り合い、親睦を深めた。

編集部からのお知らせ

スタッフ募集

HB-Style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

企画の募集

取り上げてほしい企画、テーマを募集しています。気軽にお寄せください。

今後の企画について

「液体 He の汲み出し」、「理学部 D 棟」、「HiSOR II 計画の現状」、「Igor」、「教えて！中島先生!!」などのトピックを考えています。

発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集 : 安齋太陽 (写真 右)

編集・取材協力 : 黒田健太 (左)、古本一仁 (中央)

